

課題挑戦型インターンシップ最終報告

中野竜 千田惟

目次

1. 出羽庄内国際村について
2. ワールドバザールについて
3. ワールドバザールの様子
4. ワールドバザールにスタッフとして参加してみても
5. 私たちの提案
6. まとめ

出羽庄内国際村について

- 山形県鶴岡市
- 〈国際交流事業〉
 - ワールドバザール、国際村、訪問団体受け入れなど
- 〈国際理解事業〉
 - 外国語講座(英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語、ベトナム語)・楊式太極拳講座・せかいの台所・ワールドコミュニティークラブ・コロラドスタディーツアー・フレンドシップサロンなど
- 〈多文化共生事業〉
 - 相談窓口(外国出身住民向け生活相談窓口)、日本語教室、通訳・翻訳依頼について、コミュニティ通訳勉強会、多言語情報

ワールドバザールについて

主な事業内容

- 地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種催しを実施

ワールドバザールの様子

- 模擬店
- ステージ発表
- フリーマーケット
- ボッチャ体験コーナー
- 活動紹介や雑貨販売



一昨年のワールドバザールの様子

- コロナ前のワールドバザールの様子
- 一枚目がインドネシアの模擬店、
- 二枚目がステージ発表



ワールドバザールにスタッフとして参加してみて

- ファミリー層が多い⇒若者が少ない感じだった
- 異文化交流が促進されている場所だと感じた
- いろいろな活動を行なっている人の発表・表現の場になっていると感じた
- コロナウイルスの影響で規模が縮小し、例年通りのワールドバザールとはいかなかったが感染対策がしっかりとっていて安心して参加できるイベントだった

私たちの解決課題

With コロナ

「出羽省内国際村ワールドバザール」の企画等の提案

私たちの提案

○With コロナ

いろいろな国の言葉を話してみよう！！

○After コロナ

民族衣装を着てみよう！！

➤Instagramのフォローと投稿で特典

いろいろな国の言葉を話してみよう (1)

外国の挨拶をする



店員さんがアドバイス



国にちなんだ
プレゼントがもらえる

いろいろな国の言葉を話してみよう (2)

主な効果と目的→

- 上手く他の言語が使えたときの楽しさを味わえる
- イベントを通して交流できる
- 地域参加が促せる
- 国際理解が深まる

いろいろな国の言葉を話してみよう (3)

参考にした具体例

『フランス語の注文しか受け付けない ふしぎなパン屋』

無料語学アプリケーションのDuolingoがスチームブレッド恵比寿 (Steam Bread Ebisu) とコラボレーションしたポップアップストア。Duolingoによる日本語話者向けフランス語コースの提供に合わせ、フランスのアイコンでもあるバゲットを通して東京の人々にフランス語を外で楽しく活用できる場を提供することを狙いとしている

<https://twitter.com/i/status/1404612119652454408>

いろいろな国の言葉を話してみよう (4)

- 何を話すか？
 - 「挨拶」と「素敵なプレゼントください」をその国の言葉で
- 誰がやるのか？
 - 料理のブースの店員さんが対応
- 店員さんはどんなアドバイスをするのか？
 - 気をつけて欲しいところや元気さなど
 - お手本を聞かせたり、一緒に行ってみたりする
- もらえるプレゼントは？
 - 各国それぞれ違う物でその国らしさが出る物
 - 例：お菓子、小物など

民族衣装を着てみよう (1)

- ・ アジアを中心とした国の民族衣装を着る体験を提供する。例、中国や韓国などワールドバザールが開催される年によって出店する国は異なる
- ・ 韓国であれば韓服(ハンボク)や中国であればチャイナドレスと、食だけではなく、服も国ごとに大きく異なっていることを知ってほしい

民族衣装を着てみよう (2)

民族衣装の用意

○在留外国人の方に貸してもらおう

↓ 難しい

○試しに開催してみる→レンタル

○長期的に開催する→購入

○お金はどこから出るのか？

→毎年ワールドバザールで募金活動をして活動費用を貯める

貸してもらった人に庄内国際村の中にある“韓国喫茶ふるさと”のお食事券3000円分

民族衣装を着てみよう (3)



Instagramの投稿と特典について (1)

来場者が民族衣装を着る



写真をSNSに投稿



特典がもらえる

Instagramの投稿と特典について (2)

東急がおこなった「伊豆のお飛び子キャンペーン」

- 東急は伊豆の風景を背景にジャンプしている写真を、ハッシュタグ「伊豆のお飛び子」をつけて募集
- 賞品として最高10万円の旅行券をプレゼント
- 伊豆の風景をバックに撮ることで、投稿を見ているユーザーは、どんな場所で撮ったのか気になったり、お気に入りの場所を見つけたりできた

提案理由

- 売り買いの関係だけでなく深い交流の機会作り
- 民族衣装を着ることによって積極的なイベント参加を促せる
- SNS・写真映えが良く思い出に残りやすい

まとめ

- イベントを通して、日常ではふれあえない様々な文化を体験して欲しい
- 興味・関心を生むきっかけ作り
- 参加してみても楽しいイベントが豊富だったのでより幅広い人に参加して欲しい

参考文献

- 『フランス語の注文しか受け付けない ふしぎなパン屋』

<https://www.timeout.jp/tokyo/ja/news/get-a-free-baguettes-for-practicing>

- 出羽省内国際村

<https://www.dewakoku.or.jp/>

- 東急がおこなった「伊豆のお飛び子キャンペーン」

<https://liskul.com/instagram-campaign-18551>